

# 地下鉄3号線延伸による 麻生区のまちづくり 次世代へつなぐ

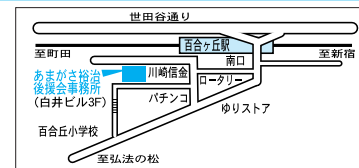
<裏面もご覧下さい>

- ・横浜市は整備すべき路線と考えています  
横浜市に直接確認しました。
- ・路線決定が早期整備のポイント

市役所内 〒210-8577 川崎市川崎区宮本町 1 TEL 044-200-3355 FAX 044-245-4135  
 事務所 〒215-0011 川崎市麻生区百合丘 1-20-7 TEL・FAX 044-955-2417  
 ホームページ: <http://www.e-amagasa.net/>  
 Eメール: [amagasa-@khaki.plala.or.jp](mailto:amagasa-@khaki.plala.or.jp)

後援会事務所 小田急線百合丘駅下車徒歩1分、  
川崎信用金庫百合丘支店並び、白井ビル3F

発行所 民主党川崎市議会議員団事務局



## あざみ野へ新百合丘間 横浜市が調査着手!



民主党  
川崎市議会議員  
**あまがさ ゆうじ**

### 新百合丘へ延伸します

7月22日横浜市都市整備局都市交通課は、横浜市営地下鉄3号線(ブルーライン)の、あざみ野駅から小田急線新百合丘駅までの延伸計画の調査に着手することを発表しました。横浜市は、この区間を「広域的な交通利便性の向上が期待され、採算性が比較的高い」と優先度の高い路線と位置付けています。調査の内容は、路線検討・全線の概ねのルートなどの検討。現地調査・地質調査・空中写真測量。具体的には、ボーリングにより地盤構成を調査(横浜市内のみ)と、空中写真による土地の現況等を調査。8月から着手、来年3月までに行います。

いよいよ、長年取り組んできた延伸計画が具体化してきました。私は、川崎市議会の6月20日の一般質問で、横浜市の横浜市営地下鉄3号線に関する調査の進捗状況について、川崎市まちづくり局長の認識を確認しました。まちづくり局長は「横浜市では本年度予算に調査費を計上しており、具体的には、沿線の土地利用の状況、地形や地盤の状況を調査する予定だと聞いている」と答弁しました。

### 麻生区内の路線は地域の発展に大きく影響

事業の推進には、川崎市域内の路線の決定が先決です。横浜市域内のあざみ野からすすきの間ではほぼ直線で結ばれます。すすきの駅から新百合丘駅までの路線は、この路線の採算性、さらに地域のこれからの発展に大きく

影響を及ぼすものです。

市議会の一般質問で「川崎市側のルート選定や新駅設置に向けての調査は今後どのように進めていくのか」と、川崎市の取り組み姿勢を確認しました。まちづくり局長は「横浜市は今年度横浜市営地下鉄3号線のあざみ野・新百合丘間の延伸について整備手法の見当や事業化に向けた基礎的な調査を行う。川崎市としても、横浜市の調査に必要な協力を行うとともに、川崎市のまちづくりへの影響と効果、事業スキームの考え方など基礎的な項目について既存資料を活用し検討を行い、事業の有効性を見極めていく」と答えています。

### 市民の意見を反映した、路線決定が事業推進の鍵

この事業の推進のカギを握るのは何よりも早期のルートの決定にあります。そのためにも麻生区の街づくりに欠かすことのできないあざみ野・新百合丘間の間に新駅位置を確定しなければルートは策定できません。なおかつ運輸スピードによる運行時間のロスがあっても採算性がそれを上回るような区内の集客の見込める場所を考え確保ができるにかかってくるのです。

横浜市と歩調を合わせて進むためにも川崎市としては上記に掲げたような課題に対して意見を集めるために、多くの市民が参加するワークショップを準備しておく必要があります。

## 地下鉄の延伸にかかわる区民アンケート 延伸の可否、路線、途中駅の設置は?

質問

### 回答用紙

Q1 1 賛成 2 反対 3 どちらでもない

Q2-1 1 北ルート 2 最短ルート 3 南ルート

Q3 ルート選択の理由

---



---



---



---

Q4 ルート上の駅の位置

Q5 1 住んでいる 2 住んでいない

▼  
Q5-1 1 承諾する 2 承諾しない  
3 どちらともいえない

ご協力、誠にありがとうございました。切り取ってそのままポストに投函してください。アンケートの集計のみに使わせていただきますので、差し支えない範囲で下記の情報をお知らせ下さい。

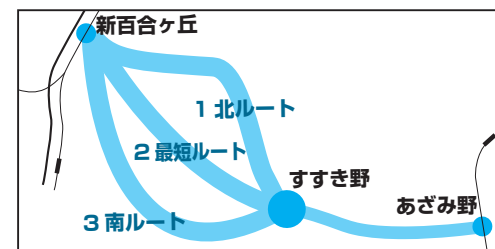
性別	男・女
年齢	20代 30代 40代 50代 60代 70代 80歳以上
町丁名	麻生区 丁目

Q1 事業費は、私の試算として総事業費 1500 億円中、本市 300 億円程度の見込みで、起債を含め長期間で応分負担も妥当な事業といえます。川崎市域についても、川崎市が自ら地質調査など実質的な予算確保を行う時期にあると思いますが、地下鉄延伸による新たな再整備を推進させることに賛成ですか?  
(詳細は2面上段記事を参照)

1 賛成 2 反対 3 どちらでもない

Q2 ルート確定には今後も様々な調査検討が必要です。あくまでも現時点での情報(裏面・路線決定の条件等)から、麻生区内のルートを下記の3ルートと想定してみました。自宅から近く、便が良くなるからという視点のみではなく、沿線の開発(再開発)、乗降客の安定的な確保など、麻生区のこれからの発展という視点に立ったとき、どの路線が良いと考えますか?

1 北ルート 2 最短ルート 3 南ルート



(詳細地図は2面参照)

Q3 ルートを選択した理由は?

Q4 選択したルート上に駅をもう1か所駅を建設する可能性があります。どのような場所を想定されますか?

Q5 あなたは3ルートの範囲にお住まいですか?(詳細は2面「路線決定が」参照)  
1 住んでいる 2 住んでいない

▼  
Q5-1 (Q5で「1」と答えた方にうかがいます) 調査に基づき、十分な騒音振動対策が施されれば、ご自分の敷地の下を通過することに

1 承諾する 2 承諾しない 3 どちらともいえない

### ホームページ、SNSでも情報発信しています

- ホームページ「あまがさ 川崎市」で検索  
http://www.e-amagasa.net
- Facebook「雨笠裕治」で検索
- Twitter「@amagasayuji」で検索
- メールでご意見もお寄せください。amagasa-@khaki.plala.or.jp



# 約束・実現の 行・動・宣・言

## 横浜市は整備を進める路線と考えています 川崎市も市内の調査予算を早急に確保すべき段階に

8月8日川崎市に対して2点を要望しました。【Q1の参考資料】

- 1、新百合ヶ丘駅と麻生区内新駅設置に向けた議論を加速させること
- 2、横浜市と強調し積極的なルート策定の調査予算をつけること

起終点駅の新百合ヶ丘と新駅設置は、ルート策定とともに、開業年度を早めることができるかを左右する重要な問題です。

これまでも紹介したように横浜市にあざみ野駅にはすでにシールド工事の発進設備ができています。

### 延伸について、横浜市に直接確認しました

横浜市の取組について、横浜市都市整備局に直接確認しました。「横浜市における鉄道を軸とした交通体系」をまとめ、2014年2月17日に公表しました。その概要を整理すると、

**1 路線の役割**  
広域的な鉄道ネットワークの形成  
横浜と川崎北部・多摩地区を結ぶ新たな都市軸が形成される  
新幹線へのアクセス機能の強化  
川崎市北部・多摩地区などの広い範囲から新横浜駅へのアクセス機能が強化される

	現行(乗換あり)	開通後(乗換なし)
あざみ野	約30分	約10分
新横浜	約40分	約25分
横浜	約50分	約40分

**2 路線の効果**  
新横浜へ大幅な時間短縮で新幹線へのアクセスが格段に改善。あざみ野・新百合ヶ丘間が、横浜線・南武線を経

しかしながらシールド工事を進めていくにはルートの確立はもとより起終点駅の新百合ヶ丘駅の受け入れ態勢が整備されていなければ不可能なものです。そのためにも新百合ヶ丘と新駅の建設は早い段階で行われる必要があります。

いま、横浜市も川崎市も、この事業が首都圏全体に与える大きなネットワーク上の効果を考え、実現できるこのタイミングにやりとげるといふ真の協調が必要で、川崎市の財政状況も経常経費が増大を続けています。新たな税収を考えると売れる資産は既に売りつくしたといっても過言で

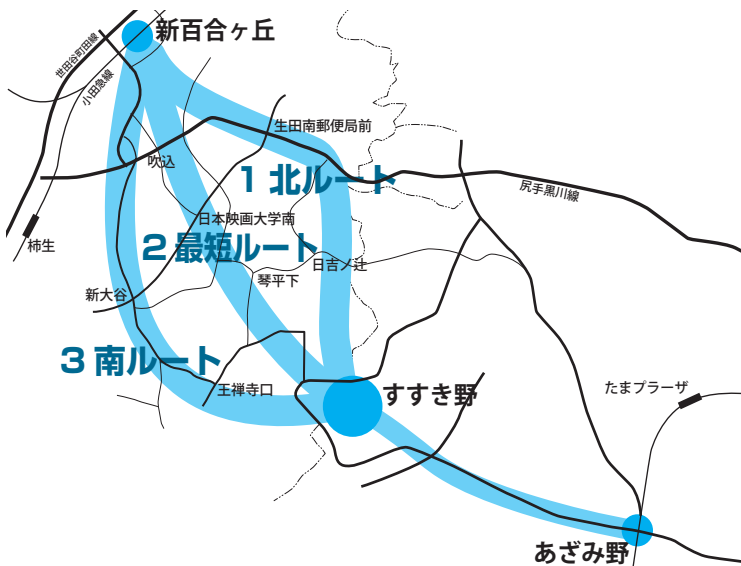
由せず、直接移動することができ、事故、災害時の代替経路の拡充。

**3 路線の事業性**  
市営地下鉄3号線のあざみ野・新百合ヶ丘への延伸需要規模は4553千人/日(輸送密度)。現在の相鉄いずみ野線と同規模です。概算事業費はおおむね1300億、1500億円、累積資金収支は2331年目で黒字転換すると試算。広域的な交通利便性の向上が期待される路線であり、かつ事業としての採算性が比較的高いことから、優先度の高い路線とする。また、沿線バスネットワークと合わせた利便性の高い交通体系を構築するとともに、鉄道整備と合わせた駅周辺のまちづくりを検討すると考えています。

横浜市は2014年度予算に鉄道計画検討調査費を3000万円計上。延伸についての整備手法の検討や事業化に向けた基礎的な調査を行い、関係機関との調整を進めます。具体的には土質調査や航空測量など、そのほとんどが3号線の調査に当て、8月よりボーリングにより地盤構成(横浜市区)や、空中写真による土地の現況等を着手したのです。

## 路線決定が早期整備のポイント ご意見をお聞かせください

【Q2の参考資料】



### 騒音・振動について

【Q5の参考資料】

6月20日の市議会一般質問で、まちづくり局長に「地下鉄の建設に際して騒音振動の影響にはどのような対応していくのか。現在ある路線でこれまでもっとも浅かった

たのは地表からどれくらいの深度なのか。これまで苦情はないのか」と質問しました。

まちづくり局長は「騒音振動の影響が発生した場合には、事業主体と想定される横浜市交通局が適切に対応すると考えている。一般に銀座線などの建設時期が古い路線については深度が浅い傾向にあり、トンネル上部から地表までの距離が数メートル程度の部分がある。鉄道運行に伴い、騒音振動が地表部に伝播し、家屋に及ぶ場合も事例としてはある」と答弁しています。

私が調べたところ、横浜市営地下鉄3号線は、それなりの深度があり、地下を走る限り騒音振動が地表に影響を及ぼすことは、少ないようです。しかし、まったくないとは言えないようです。

### 地下権利の設定は？

6月20日の市議会一般質問で、まちづくり局長に「鉄道走行に必要な地下権利の設定と様式はどんなものか。権利設定に対する補償の内容はどのようなものか」を確認しました。

### 路線決定の条件は？

以上のことを勘案すると、私は「10メートル以上の道路幅を持つ公道で、なおかつ深度は地下10メートルより深い部分を通す」ことが基本となっていくものと思われま

「地下鉄整備においては、一般的に事業計画等の内容に応じて、用地買収で権利取得するケースと、地下に一定の範囲を定め、その部分を使用する権利を設定する区分地上権設定のケースがある。他の公共事業と同様に、用地買収は正常な取引価格で土地を取得し、区分地上権を設定する場合は、正常な取引価格にその土地の利用が妨げられる「阻害率」を乗じた額で補償する」と答弁しています。つまり採算効率だけでルートを決定すると新百合ヶ丘からすすき野間を直線で結び住宅街の真下を抜けていくというものになりま

郵便はがき

2 1 5 8 7 9 0

料金受取人払

麻生局  
承認

197

差出有効期間  
平成26年  
12月24日まで

(受取人) 197  
川崎市麻生区高石  
3-27-4

あまがさ裕治  
事務所行



あなたのご意見をお寄せ下さい

お名前	住所・電話
ふりがな	川崎市 TEL ( )

★今回郵送した宛名などに不備がありましたら、上記に訂正の上、ご返送ください。